



2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月10日

上場会社名 株式会社インタートレード 上場取引所 東
 コード番号 3747 URL https://www.itrade.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西本 一也
 問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員 (氏名) 小笠原 功二 (TEL) 03-4540-3002
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の連結業績(2020年10月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	1,564	13.7	111	—	△38	—	93	—
2020年9月期第3四半期	1,376	2.9	△67	—	△132	—	4	—

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 95百万円(—%) 2020年9月期第3四半期 △29百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	13.05	—
2020年9月期第3四半期	0.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	1,408	1,005	71.1
2020年9月期	1,420	909	63.9

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 1,001百万円 2020年9月期 907百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	0.2	149	670.1	△54	—	78	54.0	10.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期3Q	7,444,800株	2020年9月期	7,444,800株
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	259,200株	2020年9月期	259,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期3Q	7,185,600株	2020年9月期3Q	7,185,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業セグメントは、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム、取引所外取引システム等の開発及び保守を中心とする「金融ソリューション事業」、ITサポート及びグループ経営管理ソリューションシステムの開発及び販売を中心とする「ビジネスソリューション事業」、機能性食材であるハナヒラタケの健康食品や化粧品等の開発及び販売を行う「ヘルスケア事業」の3つです。

前第3四半期連結累計期間（以下、前第3四半期）及び、当第3四半期連結累計期間（以下、当第3四半期）の当社グループの連結経営成績は次の表のとおりです。

	2020年9月期 (前第3四半期)		2021年9月期 (当第3四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	1,376	100.0	1,564	100.0	113.7
金融ソリューション事業	991	72.0	1,275	81.5	128.6
ビジネスソリューション事業	227	16.6	190	12.2	83.5
ヘルスケア事業	157	11.4	99	6.3	63.0
営業利益又は営業損失(△)	△67	—	111	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	4	—	93	—	—

(注) 各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません。

当第3四半期の業績は、売上面ではビジネスソリューション事業及びヘルスケア事業では減収となったものの主力の金融ソリューション事業が前年同期比128.6%の増収となり、連結売上高は前年同期に比べ188百万円増加し1,564百万円となりました。また、利益面では金融ソリューション事業の増収の影響により営業利益は111百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は93百万円となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

なお、各事業の売上高には、セグメント間の内部取引を含んでいません。

(金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業は、当社の事業です。

当第3四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 1,275百万円 (前年同期比 128.6%)
セグメント利益 397百万円 (前年同期比 167.8%)

当第3四半期においては、売上高は1,275百万円と前年同期比128.6%の増収、セグメント利益は、増収の影響もあり前年同期比167.8%の397百万円となりました。導入済の次世代プラットフォーム『Spider Digital Transfer』の機能拡張案件など、主要顧客であった証券会社以外の売上比率が高まっており、さらには、既存顧客からもこれまで当社が培ってきた技術力を活かし、お客様の抱える問題・課題を解決する新たなソリューションを提供していくことによって案件の引き合いも多く、業績は順調に推移しております。

(ビジネスソリューション事業)

ビジネスソリューション事業の業績は、当社及び株式会社ビーエス・ジェイの事業です。

当第3四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 190百万円 (前年同期比 83.5%)
セグメント利益 1百万円 (前年同期は6百万円のセグメント損失)

新規導入案件が前年に比べ少なかった為に、売上高は前年同期比83.5%の190百万円となりましたが、損益面では、開発の内製化に努めたことにより減収の影響を受けることなく、前年同期6百万円のセグメント損失から黒字転換し、1百万円のセグメント利益となりました。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業は当社及び株式会社インタートレードヘルスケアの事業です。

当第3四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高	99百万円（前年同期比 63.0%）
セグメント損失	53百万円（前年同期は80百万円のセグメント損失）

前第2四半期会計期間中の通販事業の売却や、原料メーカーとしてのビジネス展開に注力することを目的に取り扱い商品の絞り込み等を行った結果、売上高は前年同期比63.0%の99百万円となりましたが、不採算事業の整理等により、セグメント損失は、前年同期80百万円から53百万円へと改善しております。はなびらたけの認知度を更に高める為には、科学的な根拠が必要であると考えており、はなびらたけの中に含まれているサイレント型エストロゲン活性の作用機序・成分同定の解明に向けて注力しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産額（負債純資産合計額）は、前連結会計年度末に比べ11百万円減少し、1,408百万円となりました。自己資本比率は71.1%、当座比率（当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標）は236.4%となっています。

(資産)

資産合計1,408百万円の主な内訳は、現金及び預金639百万円（構成比45.4%）、受取手形及び売掛金246百万円（構成比17.5%）、棚卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）73百万円（構成比5.2%）、投資有価証券197百万円（構成比14.0%）となっています。

前連結会計年度末の資産合計1,420百万円より11百万円減少しており、その主な増減要因は、現金及び預金が111百万円増加しているものの、受取手形及び売掛金が146百万円減少していることによるものです。

(負債)

負債合計403百万円の主な内訳は、短期借入金200百万円（負債及び純資産に対する構成比14.2%）、買掛金74百万円（負債純資産合計に対する構成比5.3%）となっています。

前連結会計年度末の負債合計510百万円より107百万円減少しており、その主な増減要因は、買掛金の減少59百万円、未払法人税等の減少12百万円によるものです。

(純資産)

純資産合計1,005百万円の内訳は、資本金1,478百万円、資本剰余金996百万円、利益剰余金△1,378百万円、自己株式△95百万円、非支配株主持分4百万円となっています。

前連結会計年度末の純資産909百万円より95百万円増加しており、その主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の獲得による利益剰余金の増加93百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年8月10日付公表「営業外費用（持分法による投資損失）及び特別利益（持分変動利益）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」の予想数値に変更ありません。また、今後の動向を踏まえ、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の業績数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	527,223	639,033
受取手形及び売掛金	393,268	246,286
商品及び製品	24,705	20,676
仕掛品	23,528	43,075
原材料及び貯蔵品	7,040	9,531
その他	58,611	50,744
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	1,034,368	1,009,338
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,620	8,319
機械装置及び運搬具(純額)	512	416
工具、器具及び備品(純額)	9,625	21,949
リース資産(純額)	23,106	24,681
有形固定資産合計	42,864	55,367
無形固定資産		
ソフトウェア	8,894	7,442
その他	1,247	1,247
無形固定資産合計	10,142	8,690
投資その他の資産		
投資有価証券	192,159	197,619
繰延税金資産	12,152	9,934
敷金及び保証金	124,440	124,440
その他	15,967	15,019
貸倒引当金	△11,851	△11,851
投資その他の資産合計	332,868	335,162
固定資産合計	385,875	399,220
資産合計	1,420,243	1,408,558

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	133,225	74,113
短期借入金	200,000	200,000
リース債務	9,178	12,665
未払法人税等	28,974	16,682
前受金	14,271	20,910
その他	100,696	50,122
流動負債合計	486,346	374,494
固定負債		
リース債務	17,108	14,972
退職給付に係る負債	7,168	8,576
その他	—	5,016
固定負債合計	24,277	28,565
負債合計	510,623	403,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,478,433	1,478,433
資本剰余金	996,567	996,567
利益剰余金	△1,472,499	△1,378,696
自己株式	△95,031	△95,031
株主資本合計	907,469	1,001,272
非支配株主持分	2,150	4,225
純資産合計	909,619	1,005,498
負債純資産合計	1,420,243	1,408,558

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年6月30日)
売上高	1,376,758	1,564,805
売上原価	950,696	1,061,888
売上総利益	426,062	502,916
販売費及び一般管理費	493,683	391,902
営業利益又は営業損失(△)	△67,620	111,013
営業外収益		
受取利息	2	438
受取配当金	132	66
助成金収入	—	4,009
その他	790	175
営業外収益合計	926	4,689
営業外費用		
支払利息	904	1,374
持分法による投資損失	65,062	153,186
その他	1	9
営業外費用合計	65,967	154,570
経常損失(△)	△132,661	△38,867
特別利益		
事業譲渡益	2,000	—
持分変動利益	105,209	156,703
新株予約権戻入益	220	—
投資有価証券売却益	—	66
特別利益合計	107,429	156,769
特別損失		
関係会社株式売却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△25,232	117,902
法人税、住民税及び事業税	4,276	19,806
法人税等調整額	—	2,217
法人税等合計	4,276	22,023
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,508	95,878
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△34,253	2,075
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,744	93,803

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,508	95,878
四半期包括利益	△29,508	95,878
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,744	93,803
非支配株主に係る四半期包括利益	△34,253	2,075

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、当社の連結子会社であった株式会社デジタルアセットマーケットが、当社グループ外の企業に複数回の第三者割当増資を行ったこと等により、資本剰余金が127,157千円増加しており、当第3四半期連結会計期間末における資本剰余金は996,567千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業			
売上高						
外部顧客への売上高	991,618	227,905	157,234	1,376,758	—	1,376,758
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	127	127	△127	—
計	991,618	227,905	157,362	1,376,886	△127	1,376,758
セグメント利益又は損失 (△)	236,777	△6,383	△80,762	149,632	△217,253	△67,620

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△217,253千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,275,499	190,255	99,049	1,564,805	—	1,564,805
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	54	54	△54	—
計	1,275,499	190,255	99,104	1,564,859	△54	1,564,805
セグメント利益又は損失 (△)	397,202	1,221	△53,271	345,152	△234,138	111,013

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△234,138千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。